



久しぶりに長編アニメを見て
みたら作者が病んでいる
のかと思った件

考察

cookfmfm

こだわりすぎているのか

以下、読む人によっては不愉快な考察になっていることを断っておくので、自己判断で途中で閉じてくれ（と、断ったのでコメントは受け付けない。）

室内運動の時にたまたま流していて何周か視聴していた、ハンターハンターのアニメ（新しいほう）で、なんだか気になってまとめてみたら止められなくなった。ちなみに原作の紙媒体は全く読んでいない。

クルタ族被害が「生き馬の目を抜く」なら辻褃が合いすぎる。

新人（業界での）をいたぶるトンパ

木造蔵・目利きの「殺し技」各種→本当に価値のあるものをどう盗んで隠ぺいするか。

自分の作った「贋作」を「回収」していくゼパイル

オークションの美術品を複製するコルトピ（Ctrl+P）ソースはPCデータなのか？

旅団の団長の「盗賊の極意」もノート

G・I編 バインダー（スクラップ「ブック」？）から盗む、横取りをする

他人を脅迫してリスクダイスを利用してカードを盗ませるポマー。

キメラアント編

「他人」を食べて消化し「眷属」として誕生させるが、記憶が残り「矛盾」を抱えて分裂し「故郷に帰る」ものも。

キメラアントの王「他人の肉体をくらって、自らの能力として昇華させる能力」

念能力で、「自分の未来を盗んで」急成長したゴンさん、そして受けた「報い」。

アルカの「なんでもできる能力」をめぐる、周囲の強欲。

執事「私を億万長者にしてください」アルカ本人には「セイヤク」の意味がない、キルアだけが知る特別ルールで除念リスク回避、奇跡とおねだり、奇跡をもらって、他人におねだりを押し付ける、その罅がかかわったもの全員に及ぶ。ただし肉親でも例外がある（「家族に手を出さないでください」）

アルカは能力を濫用され奪われている（キルアも例外ではない、ゾルディック一家の所有物というよりキルアの所有物）。騒ぎの終息方法としては破格で対価のバランスが一番取れていない。なんらかの救済を求めていると思われる。

作者がクラピカのような者（復讐者）に追われているのではないか？ 何の復讐？ いわずもがな。

映画のほうも見たけど印象が薄い。